

第3回 提言討論会・東京自治研集会 オリンピックの改革

オリンピックをアベノミクス「第4の矢」に位置づけ暴走する安倍政権。オリンピックを梃子に東京大改造をすすめる舛添都政。スポーツと平和の祭典・オリンピックの姿をゆがめる開催計画。いま、IOCは、肥大化したオリンピックの改革にふみだそうとしています。主権者である都民の目で、あるべきオリンピックの姿を考えてみませんか。

第3回提言討論会は、第10回東京地方自治研究集会の第14分科会と共催で開催します。

葛西臨海公園

— 講演 —

オリンピックがめざすもの

内海 和雄 (広島経済大学教授・一橋大学名誉教授)



国連は2000年のミレニアム宣言以降、貧困、教育、健康、AIDS撲滅、民族和解他の手段として、スポーツを重視している。IOCやFIFA等の国際スポーツ組織も積極的に参加している。先進国でのスポーツも重要である。スポーツは今世界の隅々まで重要な意義を持っている。その頂点がオリンピックであり、果たしてきた役割、目指すもの、そして抱える課題を展望したい。

著書『オリンピックと平和』(2012)、『スポーツと人権・福祉—「スポーツ基本法」への処方箋』(2014予)他

(報告) オリンピックと地方自治 末延 渥史 都政問題研究家

日時：2014年**12月7日**(日) 13:00~16:30

会場：明治大学リバティタワー7階1074教室

参加費：無料 (全体会は9:30開会)

問い合わせ：2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会

TEL:03-3981-1345 FAX:03-3981-8315

第10回東京地方自治研究集会(第14分科会担当：今井)

TEL:03-5940-7951 FAX:03-5940-7957



共同開催

2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会(オリパラ都民の会)
第10回東京地方自治研究集会実行委員会(第14分科会)